

ステップだより

拠点校：日野市立南平小学校

巡回校：日野市立豊田小学校

令和5年1・2月号

自信とレジリエンスを育てるために

昨年の12月20日、ステップ教室の保護者学習会が開催されました。ご参加くださいました保護者の皆様、ありがとうございました。

今回は、明星大学心理学部心理学科教授の竹内康二先生に、『自分に自信がもてない子をどう励ますのか？』という内容で講話をいただきました。一部を紹介します。

○自信とは、レジリエンス（自己回復力）。失敗しても、“全部だめなわけじゃない”、“学んだこともあるんだ”と思える、【しなやかさ】のこと。また、うまくいかないと分かっていても、やろうと覚悟すること。

○“ネガティブな自己評価”とは、自分自身が大事にしている価値に対する評価から生まれてくるもの。（子供は、親が大事にしている価値に沿いたいと思っている。）

○“ネガティブな自己評価”と、距離を取ることが大切。そうすることで視野が広がって、自分が完璧ではないことに時々気付いてしまうことがあるが、自分なりにできることをやれている状況が、自分に自信を付けてくれる。

大人ができること

励ます言葉を意識して伝えていく。

子供「ドリルやらない。算数嫌い。」

→大人「算数嫌いなのに、4年間もやってきた？すごいなあ！」

「できてるよ！」と何度も繰り返し言葉にして伝える。

“僕はやれてるんだ” “私はここが長所なんだ” と思えるように。

12月はこんなことをしました

～ “ステップ学級会” ～

話合いの活動です。普段ステップ教室では、児童同士で「ねえどうする？」と、ざくばらんな相談形式を取らせることが多いのですが、今回は、在籍学級での学級会のように『2学期最後のフレンドタイム（お楽しみ会）は、何をするか』の議題で、自分の意見を理由とともに丁寧な言葉で発言する形式を取りました。

◎こんな姿が見られました！自分の課題に向かってがんばっています！

- 相手が発言している時、自分の順番まで発言を待っていた子
- 勇気を出して、自分の言葉で自分の意見を言うことができた子
- 意見が分かれた時、みんなの気持ちを考えて発言できた子

「確かに、それもいいなと思いました。1つの活動時間を短くすることで両方できるんじゃないかなと思います。どうですか？」

「〇〇さんの意見もいいと思うので、1つは3学期にとっておくというのはどうですか？」

- 司会などの役割決めで、「前に私がやらせてもらったから、今回はどうぞ。」と、相手に譲ることができた子

3学期の予定

1月16日（月） 指導期間

～3月10日（金）

2月1日（水） ステップ教室 授業参観

～14日（火）

※詳しい日時は別紙のお便りでご確認ください。



3月13日（月）

～20日（月） ステップ教室 個人面談